

地域一体で 鳥獣被害対策を

近年、全国の中山間地域を中心に、イノシシ、カラス、シカなどの野生鳥獣による被害が深刻化・広域化しています。

街地においても、あまり目にする事のなかったサルなどの目撃情報が寄せられるなど、市民の生活全般に影響を及ぼしています。

大洲市も例外ではなく、主要産業である農作物への被害が頻発し、農家のみなさんにとって大きな問題となっています。また、市

被害から市民の生活を守り、人と野生鳥獣の住み分けをするために、有効な対策を実践していく必要があります。



収穫前に食い荒らされた栗の実



イノシシによって荒らされた収穫前の稲

有害鳥獣とその被害

有害鳥獣と呼ばれる動物に明確な定義はありませんが、野生鳥獣が人畜や農作物などに被害を与えた場合に用いられます。イノシシ・カラス・サル・シカなどが、代表的な有害鳥獣とされています。有害鳥獣は、各自治体の長の許可をとることで、捕獲・駆除が可能です。

有害鳥獣による被害は近年増加しています。生産者にとっては死活問題です。被害のたびに対策を迫られ、費用・労力・生産意欲の低下など、大きな負担となっています。大洲市における有害鳥獣による農作物被害額は、平成22年度には4000万円に迫り、深刻な問題となっています。(表1)

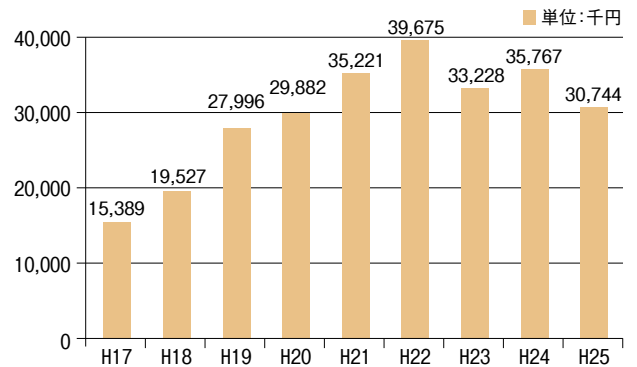
大洲市での被害の特徴は、その9割以上がイノシシによるものであり、捕獲頭数においても、イノシシが群を抜いています。(表2)春はタケノコ、夏は水稲・スイカ、秋はイモ類・栗、冬はかんきつ類など、被害を受ける農作物の種類も多く、ほぼ1年を通じて発生しています。

(表2) 大洲市鳥獣別捕獲数

単位：頭/羽

鳥獣名	H21	H22	H23	H24	H25
イノシシ	792	1,378	1,610	2,049	1,996
サル	0	0	0	0	1
シカ	0	0	0	4	8
ハクビシン・ノウサギ	3	0	23	123	111
カラス	842	846	603	512	809
計	1,637	2,224	2,236	2,688	2,925

(表1) 大洲市有害鳥獣農作物被害額



広がる生息範囲

大洲市では、猟友会の協力によって有害鳥獣の捕獲数は年々増加していますが、抜本的な解決には至らず、逆に有害鳥獣の生息範囲は拡大していると推測されます。近年では、肱川・河辺地域でシカやサルの目撃情報が寄せられています。

有害鳥獣の増加の大きな要因は、地域の環境の著しい変化によるとされています。地域で出没する野生鳥獣の頻度・頭数が増加するというのは、未収穫果実や投棄された食べ残しなどにより、その地域がよい餌場であると学習して住みつくことが、大きな要因の一つとなっています。

さらに、鳥獣にとっておいしく栄養豊富な餌があり、市街地など車や人の気配に慣れた環境で生まれた世代の野生鳥獣には、それが当たり前の生息環境となります。その結果、ますます集落に定着する野生鳥獣が増えるという悪循環に陥ってしまうこととなります。

これ以上の有害鳥獣の被害を防

ぐためには、農地や集落は人間の生活の場であり、自分たちの居場所ではないと学習させることが基本となります。

耕作放棄地をなくす、休耕地を適正に管理する、餌となる生ごみを投棄しないなど、田畑や家の周りの環境の見直しが対策の第一歩といえます。それに加えて、専門家による捕獲・駆除、囲いや電気柵など自衛による防衛をすることが、有害鳥獣による被害を防ぐ有効な対策手段となります。



現場の声

大洲市では、「捕る」(有害鳥獣を捕獲して個体数の調整をする)・「守る」(有害鳥獣が侵入できないよう、柵などで農地を防護する)・「地域づくり」(有害鳥獣を寄せ付けない地域づくりをする)を三本柱として、有害鳥獣対策に取り組んでいます。

この三本柱を掲げ、各地域において積極的な取り組みが行われていますが、大幅な改善には至っていないのが現状です。

また、狩猟者の育成も喫緊の課題です。愛媛県内の狩猟免許所持者数は、昭和45年には延べ1万人を超えていましたが、平成25年には延べ5000人を割り込んでいます。そのうち約66パーセントが60歳以上で、高齢化と若い担い手不足が深刻化しています。

今後、狩猟者の減少で有害鳥獣の捕獲頭数も減少することが予測されています。農作物被害はさらに拡大する恐れがあります。



10年に及ぶ鳥獣被害

松本 ^{あきら} 明さん

(河辺町山鳥坂)

「対策追いつかない」

河辺地域では、水稻・栗・きゅうりを中心に被害にあっています。私は毎年対策をとっていますが、特にイノシシは学習能力が高く、翌年には同じ対策では効果が無くなってしまいます。トタン柵を飛び越えられたこともあります。費用はかかりますが、3重の電気柵を構え、上段の電線は目立つよう白色にして、ようやく効果が現れてきたところです。

今後、サル・シカなどが増えてくると予想しています。特にサルは、群れを形成すると手に負えないほど被害が深刻になると聞きます。「将来は、家の周りを檻で囲んで生活しなければならない日が来るかもしれない」と冗談半分で話すが、そのようなことが現実にならないか不安です。

川上猟友会

会長 今宮 ^{まさし} 雅司さん

(肱川町大谷)

「10年後が心配」



平成17年に肱川と河辺の猟友会が統合して、川上猟友会となりました。200人ほど会員がいた時期もありますが、現在は96人で、何よりも安全狩猟徹底を第一に活動中です。

しかし、近年の狩猟者不足は深刻です。高齢化や狩猟免許更新手続きの複雑化・費用の負担増などが、主な理由です。このままでは会員がいなくなるのではないかと、憂慮しています。

耕作放棄地の増加や会員の減少、シカやサルの増加など、今後の地域の在り方についても大変心配しています。農家のみなさんには、耕作をやめる場合は木を全て伐採するなど、田畑を放置して有害鳥獣の餌場とならないよう、環境悪化の防止を呼びかけています。

大洲喜多猟友会

会長 中岡 ^{ふかし} 深さん

(菅田町菅田)

「安全と安心を」



大洲喜多猟友会は、現在248人で活動しています。かつてはキジなどの鳥類狩猟がメインでしたが、最近では有害鳥獣駆除が主な活動となっています。昨年は1,500頭のイノシシを駆除し、捕獲数は年々増えています。

グループで狩りを行う「巻き狩り」では、住民への声かけや、無線により仲間と連絡を密にとるなど、誤射のないよう細心の注意を払っています。また、猟友会として銃の保管・管理を徹底し、銃器の慎重な取り扱いが必要であると認識しています。

地域からの駆除要望も増え続けています。これ以上被害が拡大しないよう、住民一体となって取り組んでいきたいと思っています。

被害を減らすために

大洲市有害鳥獣対策推進協議会は、大洲市における有害鳥獣による農作物被害対策および鳥獣保護の円滑な推進、ならびに農林水産業の振興と生活環境の改善を図ることを目的として設立されました。協議会は鳥獣保護員や猟友会の関係者など、市内の関連団体の代表者から構成されています。

主な事業として、有害鳥獣による農作物被害の実態把握、市との情報交換および連携、鳥獣害防止および有害鳥獣捕獲などに関する要望事業や、事業などの検討および取りまとめなどを行っています。総会では各地の被害状況の検証や、今後の対策方針について協議しています。

協議会は、行政からの各種補助の受け入れ母体にもなっています。捕獲補助に関しては年2

回の検査を行い、有害鳥獣の捕獲数に応じて補助金の申請・交付を行っています。

また、狩猟者の確保のため、狩猟免許取得にかかる費用の一部補助制度も設けています。そのほか、箱わなを一括購入して猟友会に無償で貸与するなど、行政と地域住民とのパイプ役としての活動も行っています。

新たな補助事業として、地域ぐるみで農地を守るために、ワイヤーメッシュ柵設置事業があります。これは、受益農家が3戸以上、おおむね1ヘクタール以上の農地があることなど、一定の要件を満たせば、協議会を通じて必要な資材が提供されるというものです。原則として地元負担はありませんので、このような事業を積極的に活用していただければと思います。



大洲市有害鳥獣対策推進協議会 会長

竹田 ちせき 千尺さん

有害鳥獣の被害が深刻化するなかで、特にイノシシは人家の近くでも多く見られるようになりました。総会においても、各地区の被害や心配事の声が多く挙がり、人的被害を防ぐことを最優先に、より効果のある対策や解決法を模索しています。



イノシシの生態・特徴を知る

被害が深刻なイノシシの生態を知ることで、より効果的な捕獲や防除活動を実施することができます。

- ▽本来は昼間に活動するが、きわめて警戒心が強いので、夜間に行動することが多い。
- ▽雄は単独行動することが多く、雌は子や姉妹と行動する。雄には鋭い牙があるため非常に危険。
- ▽「一度見たこと・覚えたことは忘れない」など学習能力が高く、光や音、臭いなどによる忌避効果は一時的。
- ▽雑食性、人間の食べ物は全て食べる。
- ▽犬並みに敏感な嗅覚をもつ。鼻の力で50キロ以上の石を動かすことができる。
- ▽最大1.2メートルのジャンプ力がある。障害物があれば、飛ぶよりも潜りこもうとする。20センチ程度の隙間があればくぐり抜けることができる。
- ▽繁殖時期は4～6月にかけて平均5頭程度、多いときは8頭程度出産する。(年に2回出産する場合もある)
- ▽けものみち獣道(通り道)、ヌタ場(体表に付いているダニなどの寄生虫や、汚れをおとすために泥を浴びる場所)で行動範囲の確認が可能。



捕獲鳥獣の有効活用

これまで、捕獲された野生鳥獣の肉の大半は、高タンパク・低脂肪の優れた栄養食品として個人消費されたり、適切に処理された後に地中に埋設されたりしてきました。

しかし、近年の全国的な野性鳥獣捕獲数の増加に伴い、野生動物肉(ジビエ)を有効活用しようとするともっと貴重な高級食材とされてきたジビエを取り扱うレストランなども、都市部では徐々に増えてきているようです。

その一方で、厚生労働省からは、ジビエなどの食品については十分に加熱するよう注意喚起がされています。生または加熱不十分な野生のシカ肉やイノシシ肉を食べると、E型肝炎や腸管出血性大腸菌による食中毒のリスクがあります。

ジビエは、中心部まで火が通るようしっかりと加熱して食べましょう。また、接触した器具の消毒など、取り扱いには十分に注意してください。

自分たちで守る

狩猟や柵設置などは、いずれもやってくる鳥獣を何とかしようという対症的な対策です。いくらか駆除しても、その地域に有害鳥獣を引き寄せてしまう環境があれば、被害をなくすには至りません。重要なのは、野菜くずや生ごみを放置しない、自家消費野菜や果実をきちんと収穫し、餌となるものを除去するといった根本的な対策と駆除を併用することです。

野生鳥獣は、人間に被害を与えようと侵入してくるわけではありません。「生きる」という本能に従い、餌を求めているにすぎません。人間と野生鳥獣が住み分けできる環境を整備することにより、安全で快適な環境が作りだせるはずです。

効果が目に見えて現れるには時間を要します。まずは、有害鳥獣の生態とその被害状況・原因をよく知り、地域全体がひとつになつて被害を最小限に抑え、鳥獣を寄せ付けない地域づくりに取り組むことが大切です。

えひめYOSAKOI祭り2014開催

えひめYOSAKOI祭り2014は、大洲に舞う風伊予の華が、8月24日(日)、肱川緑地公園をメイン会場として開催されました。

この日は、雲の隙間から時折り差しの漏れる蒸し暑い日となりましたが、県内外から初出場5チームを含む31チーム1102人の踊り子が参加しました。

沿道を埋めた大勢の観客からは、華麗な演舞に対して歓声と拍手が送られていました。

各カテゴリーの受賞結果は、左記のとおりです。

各カテゴリー別受賞結果

カテゴリー①	チーム名
大賞	松山よさこい風舞人(松山)
準大賞	羅り摺れ樽連(大洲)

カテゴリー②	チーム名
金賞	跳星☆HOP☆STAR☆(内子)
高知よさこい祭り振興会会長賞	
銀賞	疾風迅雷(大洲)
銅賞	チーム響(西予)

カテゴリー③	チーム名
金賞	熱血!!北中YOSAKOI部(大洲)
銀賞	GREATEST★ENERGY(西条)
銅賞	パワーぜんかい 平組!(大洲)
大洲市長賞	喜多っ子パワーズ2014喜鷹組(大洲)
大洲商工会議所会頭賞	喜多っ子パワーズ2014喜龍組(大洲)
大洲市観光協会会長賞	竜王 水風連(内子)
大洲商店会連合会会長賞	喜多っ子パワーズ2014喜猿組(大洲)
大洲市教育委員会教育長賞	ジョイフルダンス(大洲)



大洲のええモン決まりました ～大洲ええモンセレクション認定書交付式・認定品発表会～

平成26年度大洲ええモンセレクションの認定書交付式・認定品発表会が9月1日(月)、料苑たる井で行われました。

大洲ええモンセレクションの認定は、今回で3回目を迎えました。7月15日(火)に行われた審査会において、9品目(5事業者)が認定品として新たに選ばれました。

式典で清水市長は「地域の伝統的な食品を、市をあげて応援していきたい。これからも、地域ブランドの情報を発信してほしい」とあいさつし、認定書を事業者一人ひとりに手渡しました。

事業者を代表して養老酒造株式会社^{みつお}の山内光郎さ

んは「大洲のええモンラインナップに加えていただきありがたいと思う。今後、大洲市のPRを微力ながら行いたい」と述べられました。

交付式終了後、認定品のお披露目が行われ、参加した関係者たちが各ブースを回りながら試食などをしました。関係者からの質問に答える事業者からは、自身の商品に対する熱い思いやこだわりが感じられました。

今回の認定により、大洲ええモンセレクションの総認定品数は30品目15事業者になりました。これからも、大洲ブランド創出事業の一環として、流通拡大や地域産業の活性化を図っていきます。





大洲城復元10周年記念式典が8月31日(日)、大洲城天守閣前広場で開催されました。

式典で清水市長は「大洲城は肱川に面して築城されていて、40年前と同じような場所に復元されている。天守は木造で復元されているので、肱川の雄大な流れと時代の雰囲気を感じてほしい」とあいさつしました。

その後行われた大洲藩鉄砲隊と丸亀城鉄砲隊の合同演武(空砲)では、火縄銃と短筒、大筒による

大洲城復元10周年事業を開催



演武があり、式典に出席した関係者と観客のみなさんは、初めて聞く火縄銃の音の大きさに、とても驚いていました。

また、11月末日までの特別展示「井上関右衛門展」大洲藩の鉄砲を作った職人」に資料を提供していただいた、井上家当主の井上修一さんに感謝状が贈呈されました。

大洲城では、これから来年3月末日までの期間、大洲城丸わかりガイドと火縄銃解体ショーを実施します。

高齢者叙勲



田中 定幸 さん
(白 滝)
元長浜町議

田中さんは、長年にわたり地方自治にご尽力されたご功績により、このたび旭日単光章を受章されました。

旭日単光章

第18回ながはま赤橋夏まつり俳句大会

8月2日(土)、市内外より多数の俳句愛好者が集い、今年で第18回目となる「ながはま赤橋夏まつり俳句大会」が、長浜ふれあい会館で開催されました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

【大洲市長賞】

相槌も介護の一つ花みかん 松山市 井上由美子

【愛媛新聞社賞】

核心に触れざるままやかき氷 大洲市 山中清子

【大洲市議会議長賞】

生涯を農一筋の日焼顔 八幡浜市 宮本藤治

【大洲市教育委員会教育長賞】

持てるだけ持ちて帰省子帰りけり 大洲市 都築房代

【大洲市文化協会長浜支部長賞】

母の背流すごとくに墓洗ふ 内子町 宍田柳子

【大洲市観光協会長浜支部長賞】

一灯も無きふる里や星涼し 大洲市 谷本一善

【ながはま赤橋夏まつり俳句大会実行委員会賞】

精一杯戦後歩んで心太 大洲市 宮部敏博



夏の恒例イベント ～かわべふるさと祭り～

河辺地域のお盆恒例行事であるかわべふるさと祭りが、ふるさと公園で開催されました。

カラオケ大会や歌謡ショー、盆踊り大会、扇子踊りなどの催しがあり、多くの地元住民と帰省客でにぎわいました。途中で雨が降るハプニングがありましたが、約900発の花火が無事打ち上げられ、河辺の夏の夜空を華やかに彩りました。



どきどきの海外生活初体験 ～大洲市中学生海外派遣事業帰国報告会～

大洲市中学生海外派遣事業の帰国報告会が、総合福祉センターで行われました。

市内8校から12人の生徒が参加し、オーストラリアのケアンズで2週間の交流活動を行いました。帰国報告会で生徒たちは、初めての海外生活で体験したことや交流活動の思い出、派遣事業関係者への感謝の言葉を述べていました。



夢をかなえるために ～大洲夏季大学～

大相撲解説者として活躍中の舞の海^{しゅうへい}秀平さんを講師に迎え、大洲夏季大学を開催しました。

「夢は必ずかなう」と題した講演で舞の海さんは、自分が角界入りしたきっかけや引退後解説者として第2の人生をスタートした当時の話などを、ユーモアを交えて話されました。角界やテレビ業界の裏話が披露されるたびに、会場は大いに盛り上がりました。



古来の太鼓が夜空に響く ～山鳥坂の夜神楽～

県無形文化財に指定され、300年以上の歴史を持つ山鳥坂^{しめ}鎮縄神楽の公演が、岩谷小学校跡で行われ、市内外から大勢の人が訪れました。

神楽一番の見所でもある約50mの大蛇が山中より登場した時には、とても大きな歓声があがりました。その後も、山々に響き渡る太鼓の音や勇壮な舞に、観客は幻想的な世界に引き込まれていました。



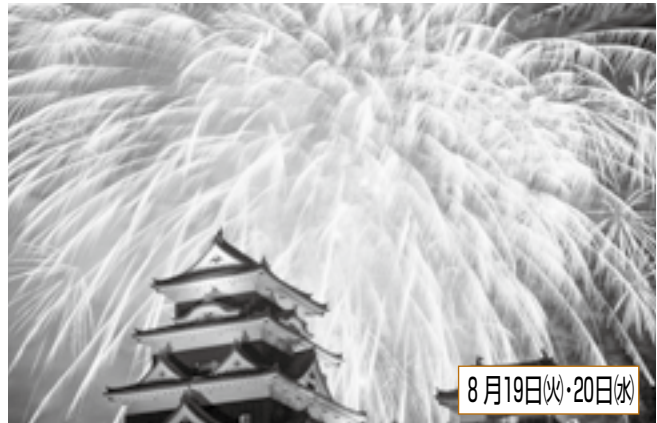
8月24日(日)

水上の熱いバトル

～第24回カヌーツーリング駅伝大会～

肱川の自然に親しみ、川を大切にする意識の高揚を図ることなどを目的に、44チーム274人が参加して第24回カヌーツーリング駅伝大会が行われました。

スタート地点の大成橋上流の河川敷で、大川地区のみなさんから応援を受け、5区間15.3kmで熱いバトルが展開されました。どの選手も少しでもタイムを縮めようと、必死でパドル操作をしていました。



8月19日(火)・20日(水)

夏の終わりの大花火

～大洲川まつり花火大会～

台風による雨の影響で、開催が延期になっていた大洲の花火大会が、肱北河原（19日）と肱南河原（20日）でそれぞれ行われました。

今年は「クライマックス^{クス}2014～これが大洲の花火だ!!～」をテーマに、鮮やかな大輪の花を咲かせた約4,000発の花火が、およそ70,000人の観客を魅了しました。



8月29日(金)

雨のなかでいもたきスタート

～いもたき初煮会～

今年もいもたきシーズンの到来を告げる初煮会が、如法寺河原で開催されました。

およそ300年の歴史がある大洲のいもたきですが、今年は雨のためステージイベントが中止になってしまいました。しかし、大鍋で作られた約1,000人分のいもたきは、例年通り集まったみなさんに無料で振る舞われました。



8月23日(土)

夏シーズンのクライマックス

～白滝うら盆まつり～

白滝地区の夏の象徴である白滝うら盆まつりが、JR伊予白滝駅前をメイン会場として開催されました。

駅前のステージでは、コンサートや餅まきなどが行われ、観客からは大きな歓声があがっていました。

まつりの最後には、白滝大橋付近から打ち上げられた花火約100発が夜空を彩るとともに、夏の終わりを告げていました。

地域を守るエキスパート No.3

大洲市を守る消防団員の活動や取り組みをシリーズで紹介します。

応援事業所一覧（22事業者）

事業所名	住所	事業所名	住所
Room千秋	大洲	メンズショップ大丸	中村
Room千秋 (ポコベン横丁)	大洲	Bar & Cafe ROY'S	東大洲
倉谷施術院	田口	大洲炉端 油屋	大洲
(有)ダイヤスポーツ	中村	ハヤシダ寝装店	大洲
カラオケ・岩盤浴 バル大洲店	東大洲	コーヒー専門店 オードリー	田口
和み処 幸音	中村	ユニマッチ大洲	田口
もつ鍋居酒屋熱炎	東大洲	カフェ Ninomiya	大洲
レーヴ	常磐町	コーヒー・ターシャ チューダ	新谷
(有)むらや	大洲	野菊	若宮
広島風お好み焼 笑や	徳森	めし家	若宮
お食事処 山善	東若宮	めがねと補聴器の アイアイエー大洲店	田口



中川団長（右端）、
応援事業所のみなさん、
愛媛県消防協会会長（左端）

この日は、中川一夫消防団長のほか団幹部が同席し、市内で登録を受けた22事業所のうち4事業所に対し、土居会長からステッカーが交付されました。

えひめ愛顔で消防団員応援プロジェクト応援事業所ステッカー交付式が、8月18日(月)、消防本部会議室で開催されました。

このプロジェクトは、愛媛県消防協会（土居敏夫会長）が主体となり、県内の消防団活性化のため、消防団員に対し優遇サービスを提供する事業所を登録するものです。

消防団を応援します 消防団員応援プロジェクトステッカー交付式を開催

土居会長は「団員確保が困難な状況のなか、本プロジェクトを開始した。趣旨に賛同いただいた事業所のみなさんに対して、感謝を申し上げる」と謝辞を述べました。

応援事業所の募集は、今後も引き続き行われますので、登録を希望される人は、左記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

愛媛県消防協会

☎089(921)8517

危機管理課 ☎241742

野鳥



キリアイ（雉合）
チドリ目 シギ科
大きさ16.5cm

北極海に面したユーラシア大陸北部で繁殖し、東南アジアの島々やオーストラリア沿岸で越冬するシギの仲間です。

名前の由来は、顔の模様を正面から見ると、大工道具の「鉋」が集まっている様に見えるからと言われています。数は多くありませんが、水の張った休耕田や河口部で出会うことができます。

シギやチドリの仲間の多くは、北半球で繁殖をして南半球で越冬します。地球規模でダイナミックに旅をして、命を未来につないでいる姿は、本当にすごいと思いませんか。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財



大洲城下台所
愛媛県指定有形文化財（建造物）
大洲市所有

大洲城下台所は、重要文化財の4棟の櫓とともに大洲城内に現存する数少ない建造物です。土蔵風の造りをした一部二階建て、高床構造の建物で、城内における食糧庫の役割を果たしたと考えられます。建築年代は不明ですが、元禄5年（1692）の絵図には既に描かれていることから、それ以前に建築されたと推定されます。

明治時代以後は、監獄、製糸工場、酒造工場の倉庫などに使用されますが、監獄時代のもののなかには、上級武士だった自分が看守となった現在を嘆いた旧藩士の落書きなど、興味深い資料も残されています。

昨年度から実施してきました屋根、外壁などの修理工事が終了しましたので、きれいになった下台所を一度ご覧ください。

（昭和43年3月8日指定）

ALT(外国語指導助手)のつぶやき

ニューヨーク州ロチェスターの郷土料理



ジェシカ・リードさん

ニューヨークと聞いてまず思い浮かべるのは、大都市ニューヨークでしょうか、それとも、ニューヨーク州でしょうか。ニューヨーク州には、独自の文化を持つ4つの地域があります。今回は、私の故郷ロチェスターのフィンガーレイク地区を紹介します。

この地区は、たくさんのワイナリーと紅葉が有名です。長い指の形をした湖周辺の丘は、ワイン用のブドウを栽培するのに最適です。ボートや釣り、ハイキングを楽しむこともできます。

^{ザ ガービッジプレート} THE GARBAGE PLATEは、ロチェスターで最も有名かつ変わった食べ物です。ガービッジは「ゴミ」という意味で、見栄えは悪いのですが、とてもおいしい料理です。

この料理は、マカロニサラダとフライドポテトに2つのハンバーガーかホットドッグをのせ、熱いミートソースやタマネギ、マスタードをかけて切り刻み、混ぜて食べます。

^{チキンフレンチ} CHICKEN FRENCHは、フレンチといってもフランス料理ではありません。イタリア系アメリカ人のレストランだけで出される料理です。この料理の作り方は、よく叩いて平らにした鶏の胸肉を、とき卵にくぐらせ小麦粉を



ガービッジプレート



チキンフレンチ

まぶしてレモンとシェリー酒、パルメザンチーズ、バターソースで炒めて作ります。トマトソーススパゲティと一緒に出されるのが一般的です。地元ワインを飲みながら食べると、特においしいです。

ニューヨークに行った時には、ロチェスターまで足を伸ばし、ぜひ食べてみてください。

おおずの女性 ~輝いて今~

市では、男女共同参画を推進する指針として「大洲市男女共同参画推進計画」を策定しています。この施策を推進するために、毎年市における男女共同参画の進捗状況を公表しています。

▽審議会などにおける女性委員の登用状況

	審議会など (うち女性委員のいる審議会など)			延べ総委員数(人) (女性委員数)			女性委員比率(%)		
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26
地方自治法(第202条の3)に該当する審議会数※1	38 (32)	39 (33)	38 (34)	843 (158)	858 (164)	881 (178)	18.7	19.1	20.2
地方自治法(第180条の5)に該当する審議会数※2	6 (2)	6 (2)	6 (2)	56 (6)	56 (6)	56 (6)	10.7	10.7	10.7
小計	44 (34)	45 (35)	44 (36)	899 (164)	914 (170)	937 (184)	18.2	18.6	19.6
要綱・規程などに基づき市が独自に設置している審議会など	18 (12)	19 (13)	16 (10)	272 (29)	278 (32)	220 (25)	10.7	11.5	11.4
合計	62 (46)	64 (48)	60 (46)	1171 (188)	1192 (193)	1157 (209)	16.5	16.9	18.1

※1 地方自治法に基づき法令・条例で設置されている審議会などの数です。

※2 教育委員会・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員・農業委員会・固定資産評価審査委員会の数です。

▽自治会長、PTA会長などにおける女性役員

	女性役員数(人)			役員総数(人)			女性役員比率(%)			
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26	
区長会・自治会など	区長会長	0	1	1	30	30	30	0.0	0.0	3.0
	自治会長	1	1	1	33	33	33	3.0	3.0	3.0
	会長以外の役員	95	95	74	568	568	572	16.7	16.7	12.9
小学校	PTA会長	1	0	0	20	19	15	5.0	0.0	0.0
	会長以外の役員	31	27	27	70	67	68	44.3	40.3	39.7
中学校	PTA会長	1	0	1	9	9	9	11.1	0.0	11.1
	会長以外の役員	15	17	13	41	41	42	36.6	41.5	31.0

▽市における女性の役付職員(係長および係長相当職以上)と一般職員への登用状況

	役付職員(人)	うち女性(人)	女性役付職員の内訳(人)			一般職員(人)	うち女性(人)
			課長	課長補佐	係長		
H 24	357	106	3	7	96	337	218
H 25	353	107	3	9	95	327	205
H 26	348	104	2	9	93	318	199

大洲藩主加藤家の文化財（第伍幕）

加藤泰統（かとうやすむね）



大洲藩4代藩主加藤泰統は、元禄2年（1689）加藤泰恒の二男として大洲に生まれ、正徳5年（1715）、父泰恒が亡くなると27歳で家督を相続しました。

泰統が藩主となったころは、度重なる江戸屋敷の類焼や、破損した大洲城石垣の修復などの災害復旧によって、藩の財政が行き詰まりはじめた時期でした。その打開策として泰統は、享保元年（1716）から5年間、これまでの収穫前に米の生育状況を調べて豊作・凶作によって年貢の税率を決定する「検見取」から、各村の過去数年の実収入高の平均値によって一定の税率を決定する「定免」に変更することで、藩の安定的な収入の確保を図りました。

また、裕福な町人や百姓からは、

御用銀と称して臨時的に銀の上納を命じたほか、藩士に対しても一旦給与から差し引き、後日返還する借上米や、事実上の減給となる引上米を実施するなど財政再建のための改革を進めました。

このように思い切った藩政改革を実行した泰統ですが、人物像は思いやりのある情け深い人柄と伝えられています。

ある時、河辺方面に出かけた泰統は、川上から流れてくる溺死者を見つめます。その際、溺死者を懇ろに葬るよう命じるとともに、所縁のわからない者についても、庄屋などが見届けて葬るようにと家臣に命じたとされ、その情け深い泰統の心に士民ともに感銘したという逸話が残されています。

泰統は、享保12年（1727）、大洲において39歳の若さで没し、遺骸は如法寺に葬られました。



如法寺にある泰統の墓所

大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

秋といえば何を思い浮かべますか。読書の秋、スポーツの秋。食欲旺盛な人は、真っ先に「食欲の秋」と答える人も多いのではないのでしょうか。秋は、実りの季節で、収穫祭が行われる地域も多くあります。

さて、地元大洲には、どんな秋の味覚があるのでしょうか。代表格といえば、大洲のいもたぎに使用されるサトイモ、そしてシイタケもおいしい時期です。もう少し寒くなると長浜のフグも楽しみの一つです。

お腹がすいたところで、今月のクイズに挑戦です。

【今月のクイズ】

大洲で栽培されている農産物のなかで、愛媛県1位の出荷量を誇るものはどれでしょうか。答えは2つ。

- ① トマト
- ② クリ
- ③ ナシ
- ④ サトイモ
- ⑤ シイタケ



【先月号のクイズの解答・解説】

大洲市ならではの、変わった駅伝大会があります。その駅伝大会とはどれでしょうか。

- ① いもたぎ早食い駅伝
- ② カヌーツーリング駅伝大会
- ③ 四国八十八ヶ所自転車駅伝
- ④ 大洲うかい船駅伝

解答 「②カヌーツーリング駅伝大会」

解説 肱川で行われる注目のスポーツとして、カヌー駅伝があります。大成橋から大洲城までの5区間15.3kmで競います。2017年えひめ国体では、カヌースプリント競技会場に鹿野川湖が内定しています。

これをきっかけに、ますますカヌー熱が盛り上がることを期待します。



※今月のクイズの答えは、広報大洲11月号に掲載します。